

地域と医療で咲くコミュニケーション

あまが咲

2024

4月

No.119

 兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより

【診療科紹介】

皮膚科

患者サポートセンター

出産の祝膳
調理中の様子

表紙写真撮影 / 栄養管理部 K.M

- [AGMCニュース] ロボット手術で、肝臓高難度手術をやさしく提供します
- [ぶらり〜っと病院探訪] 外来採血室の紹介
- 引き続き、不織布マスクの着用について
- 医師の働き方改革

皮膚科

構成メンバー



皮膚科科長
工藤 比等志

- 京都大学医学博士
- 京都大学臨床教授
- 日本皮膚科学会専門医
- 兵庫県皮膚科医会幹事

- 奥野 愛香 [医長]
- 山科 伸晃 [専攻医]
- 太田 美貴 [専攻医]
- 趙 玲愛 [非常勤医師]



患者さんや 地域医療機関への メッセージ

待ち時間短縮のためにも、緊急受診以外の初診の方はかかりつけの先生に紹介していただき予約受診して下さい。
症状が落ち着いた場合は、地域医療機関へご紹介しています。



皮膚でお困りの方に 高度医療を提供します

病院全体の機能、皮膚科スタッフとも大学病院を除く阪神間の病院では最も充実しています。近隣のクリニックでは対応困難な、重症、難治患者さんに対して、各種の検査と最新の治療を行っています。合併症などで必要な場合、他科とも連携して治療します。



回診での処置の風景



提供する主な活動内容

▶対象となる疾患

アトピー性皮膚炎、じんましん、乾癬・掌蹠膿疱症

いずれも従来の治療に加え、生物学的製剤, JAK阻害薬など新規治療も行っています。

▶皮膚の感染症

急性、重症の細菌、ウイルス感染症には点滴治療、入院治療も行います。

▶皮膚腫瘍

病理検査で診断を確定します。悪性腫瘍は形成外科と連携し、手術、抗がん剤、放射線を組み合わせて治療します。

- その他、薬疹・中毒疹、膠原病、水疱症、皮膚潰瘍・足病変にも重点をおいています。

患者サポート センター

患者さん、ご家族を トータルでサポートします

構成メンバー

- 医師…………… 2名
副院長(医療連携担当)
地域医療連携部長
- 看護師…………… 23名
- ソーシャルワーカー… 18名
- ナースアシスタント… 3名
- 事務職員…………… 7名
計53名

患者サポートセンターは、医師、看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士、事務職員など多職種のスタッフが、入院前、入院中、さらに退院後の生活まで患者さんをサポートし、地域全体で安心して医療が受けられるよう努めています。



患者サポートセンタースタッフ

提供する主な活動内容

北
館

▶入院前支援

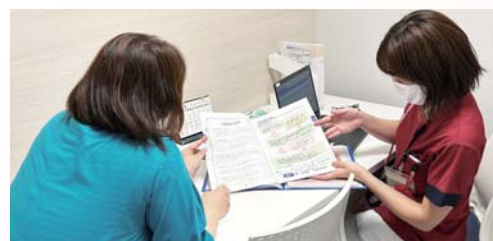
入院が決まった方を対象に、入院前のオリエンテーションや手術に必要な診療のマネジメントを行っています。

▶退院支援

入院後、早期より主治医及び病棟看護師をはじめ多職種と連携をとり退院調整に関わっています。

▶クリニカルパス支援

入院中に受けられる検査・手術の予定など、患者さんに治療内容をご理解いただくためのクリニカルパス(入院診療計画書)の作成を支援しています。



入院前支援



医療連携会議

本
館

▶総合相談

病気、入院が必要になることにより起こる様々な不安などに対して、ソーシャルワーカー等が、ご相談をお受けしています。

▶地域医療連携

医療機関からの受診予約受付、検査予約受付を行っております。

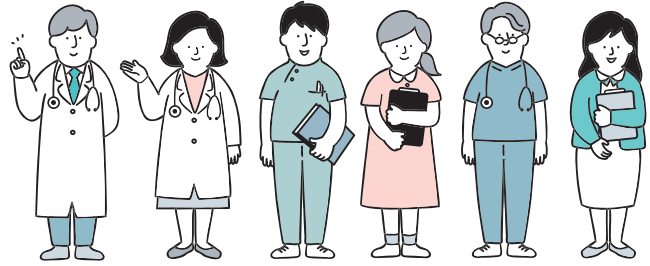
患者さんや 地域医療機関へのメッセージ

患者さん、ご家族が安心できる地域連携、地域の医療機関、介護施設の皆さまから信頼される地域連携を目指して努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。





AGMC ニュース

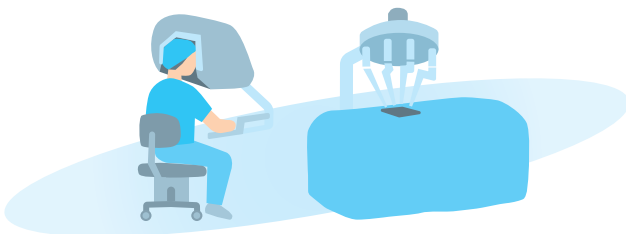


ロボット手術で、 肝臓高難度手術をやさしく提供します

高齢化が進むにつれて、肝胆膵領域の癌手術が必要な方が増えています。とくに膵癌は増えており、多くの場合は手術以外にも、手術前の化学療法や放射線療法などの集学的治療が必要になります。これらの治療後に根治手術を行い、手術後はできるだけ早く補助化学療法を始めることが大切です。そういうわけで、患者様にとって手術負担が少なく、合併症を最小限に抑えるやさしい手術法の選択が、ますます重要になっています。このニーズに応えるべく、当院ではロボット支援下手術を積極的に取り入れています。



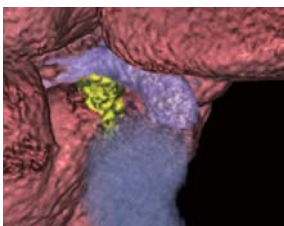
daVinciXi写真(Intuitive提供)



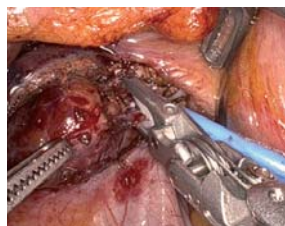
ロボット手術は、その精密さと高画質映像で、手術がより精緻に行えるようになります。術者の繊細な手の動きを忠実に再現し、開腹手術や腹腔鏡手術による従来の手法では難しかった深部腫瘍の切除や肝門部脈管の処理などがより安全に行えるようになります。とくに体の奥深い後腹膜に位置する膵臓にアプローチする際は、ロボット手術ならではの安定した視野と操作の自由度で、あたかも術者が腹腔内に入り込んでいるような精度の高い操作が可能となります。この技術は肝癌や膵癌治療だけでなく、悪性度の低い腫瘍に対する周囲の臓器を温存する手術においても有用です。

当院では毎週、肝胆膵腫瘍に関する合同カンファレンスを開催し、個々の患者様に最適な治療法を模索しています。地域医療を担っておられる先生方との連携を大切にし、ご紹介いただいた患者様に最適な治療を提供できるよう心がけています。肝胆膵領域の腫瘍でお困りの際は、地域連携を介してお気軽にご相談ください。

消化器外科 北村好史



ロボット支援下肝切のシミュレーション画像と術中写真



ロボット支援下膵切の術中写真(脾動脈/脾静脈処理)



ぶらり〜っと

病院探訪

外来採血室のご紹介



病院ホームページでは
採血室案内動画を公開しています。
ぜひ、ご覧ください。



ご存じの方も多いと思いますが、当院は2階に外来採血があります。受付は7時30分から行うことができ、採血は8時20分から開始されます。自動検査受付機では採血・採尿・生理検査の受付を同時にすることができ、複数の検査がある場合に効率よくご案内できるようになっています。

採血室では毎日500人以上、多いときには700人近くの患者さんの採血を行っています。混雑時には10台の採血ブースをフル稼働し、できる限り患者さんの待ち時間が短くなるように看護師・臨床検査技師が力をあわせて頑張っています。そして、採血室の裏隣には検査室があるため、採血後すぐに検体を届けることができ、迅速かつ正確に検査結果を出せるように努めています。



自動検査受付機



採血管準備機



検査室

当院の検査室は
ISO15189の認定を
取得しています！



お知らせ掲示板



引き続き、 不織布マスクの着用について

重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、**院内では引き続き、必ず不織布マスクを着用**いただきますよう、みなさまのご理解とご協力をお願いします。

2024年4月より、勤務医の残業時間に上限が設けられます。
みなさまのご理解、ご協力をお願いいたします。



患者さんやご家族のみなさまに ご理解、ご協力していただきたいこと

診療時間内の受診

日頃から決められた診療時間内での受診にご協力ください。特に、病状、検査、手術の説明を受けるといった場合は一層のご協力をお願いします。

タスク・シフト/シェア

疾患の説明や検査など、医師が担っている業務の一部を他の医療スタッフに任せたり分担することがありますのでご理解をお願いします。

複数主治医制

患者さんの治療を行う医師がチームを組み、1人の患者さんに複数の主治医が対応することがありますのでご理解をお願いします。



編集後記

新年度がスタートして、春の訪れを感じる季節になりました。職場内のメンバーも入れ替わり、新しい気持ちでまた1年成長していける年になりたいと思います。今年は春から暑くなり猛暑を迎える可能性があるとの気象庁の予想もありますが、来たるべき暑さに備え体調を整えたいですね。(H.S.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2丁目17番77号 TEL.06-6480-7000(病院代表) FAX.06-6480-7001

URL:<https://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索